

A vibrant, colorful background featuring various abstract shapes and patterns in shades of yellow, blue, pink, and green. Several children are shown in various playful poses, some sitting on or sliding down ramps made of cardboard boxes. The overall atmosphere is joyful and creative.

NPO法人パレット & キャンパス

×
鹿児島大学法文学部
自治体政策論ゼミ

協働・連携

主である事業を通して、
地域の子育てに深く関わり、
多くの子どもたちと数年単位で
関わり続けてくる中で、
見えてきたことがあります。

発達段階・特性・個性
多様性のあるこどもたち。

地域の中に十分な
こどもたちの理解者は
いるのでしょうか？
安全基地・居場所
あるのでしょうか？



放課後児童クラブ パレットカラ- 3施設 (児童数各30名)



ふれあい犬
かわいがってね!



ルミナス「好きから始まる」
霧島市国分福島2-2319-8



ビビット「存分に遊びきる」
霧島市隼人町住吉1610-3



パステル「自信に繋がる」
霧島市隼人町住吉295-1

The Project

パレット&キャンバスが 地域の中で取組みたいこと

<目的>「全てのこどもに対して必要な支援を提供する」
福祉に繋がることが出来ない状況を含めた発達過程の全てのこどもたちへ、
継続的・連続的な支援提供を可能とする。

<展望>「分野外・外部者の支援力、被支援者の相互支援力の活用」
支援者側の分野を越えたりリソース不足を補完し合う仕組み作り、
また、限られたリソースの中で被支援者同士が
支え支えられる双方向性を生む仕組み作りを地域に作りたい！

<具体的取組み>

- ①学校行滞り・不登校児童の居場所・相談支援
- ②制度対象外児童の学校・園・家庭への訪問支援
- ③分野外・外部連携による支援者支援
- ④高齢者・障害者等を含む地域の居場所
- ⑤被支援者の相互支援機会提供
- ⑥校区単位でのNPO・学校・企業・団体・地域等連携体制構築
- ⑦そこで生まれた連携・実践事例・成果を発信する座談会・研修事業を行う。

協働・連携の背景や課題

・多様化・複雑化する地域課題

地域社会・家族機能の衰退や学校制度の問題が身近に迫る

虐待1/100(厚生労働省)貧困1/6(厚生労働省)いじめ1/3(ユニセフ)

ひきこもり1/50(内閣府)不登校小学生1/50中学生1/15(文科省)

通常級要支援児童1/10(文科省)

・制度外福祉とは？

法制度では対応できていない課題

制度と現実のギャップを埋める制度外福祉の取組みが必要

・パレット&キャンバスが実践中の取組み

地域食堂・地域交流・食材配布・不登校支援

・制度外福祉の取組みの困難さ

リソース不足(人材・資金)。

単独・単発での実施になりがち。負担が増して長く続かない。

パレキャン×自治体政策論ゼミ マッチングによる課題解決

ゼミの現状と課題

県庁から派遣された教員の実務経験を活かし、公務員に必要な思考法やスキルを学び、自治体政策についてフィールドワークを交えて考えていくゼミ。地域を実際に訪れ、解決すべき課題を様々な視点から発見して、地域の方とのコミュニケーションを通して課題解決や活動に参加している。一方で、郊外活動の分野や場が限られがち・・・

パレキャンの現状と課題

鹿児島県の方々と繋がり、こどもたちの居場所・体験活動を継続したい。その中で、鹿児島県で育ったこどもたちがこの地域に学びたい学校があり、働きたい仕事がある、と感じてもらいたい。若者・大人の学ぶ姿・働く姿に直に触れ、主体性を持って自分らしい未来を描ける、「生きる力」を育む機会を提供したい。

パレキャン×自治体政策論ゼミ

生まれた協働活動

取組み内容・参加者数

10/29(火)アイデア会議

パレキャンの島田・園田がゼミの授業にお邪魔し、協働のスタート。
学生さんから協働したい活動について、アイデアを出してもらいました。

12/26(木)文化祭&体育祭(約50名)

コラボ企画文化祭&体育祭イベントを開催しました！
大学生のみんながチラシから、レクレーション内容から、計画してくれました。
折り紙「だるま」工作・舞台の上でジェスチャーゲーム・
だるまさんパン食い競争・ドッジボール・ケイドロに楽しみました。

1/18(土)お正月お楽しみ会(約70名)

コラボ企画お正月お楽しみ会イベントを開催しました！
大学生のみなさんがやってみたいと言っていた「餅つき大会」は
ご近所のデイサービスの方々がお手伝いしてくださいました。
お正月遊びでは、こま回し・羽子板・かるた・
お手玉・だるま落としを楽しみました。

パレキャン×自治体政策論ゼミ

成果・影響

学生さんの現場での学び

今回、自治体政策論ゼミ学生さんが、地域課題解決のための取組みを実施するNPOの取組みを現場に入って深く知って頂けた。また、イベント参加を通じ、事前準備や連絡調整の大切さを学ぶ機会にもなった。学生さんが、好きなこと・得意なことでも力を発揮し、イベント企画・チラシ作成・当日運営スタッフとして加わってくれたことで、担い手不足という課題の解決が図られた。

出会い・体験の広がり

子どもたちは学校・家庭が世界の全てであり、時には、希望が持てない・逃げ場のない状態になる場合も。年齢も近く、親しみ、憧れの存在となれる大学生さんと関わることで、新たな人間関係と楽しみを感じられる機会が広がった。

小さな地域共生社会の実現

保育園児・小学生・中高生・大学生・保護者・高齢者、障害をお持ちの方、等多様な参加者が集い、学生さんが遊びを教えたり、高齢者が講師となったり、支え支えられるやり取りが生まれた。アンケートも全員が楽しかった、次回参加希望の結果だった。

今後の展望・地域への影響

日常的・継続的な取り組みへ

発達段階にある子どもたちは成育環境により人格形成がされていくため、イベントのような単発的な実施ではなく、日常的・継続的に多様な人々と「出会い」様々な「体験」得られるような居場所、理解者・安全基地と繋がる取り組みへと進化させたい。

多様な担い手と協働

この協働により、学生さんが将来、地域共生社会を作っていくパワーとなって欲しいと願う。多くの学生さんが、来年度以降も活動を続けたいと言ってきて大変嬉しかった。自治体政策論ゼミ学生さん、地域住民、社協、包括、福祉事業者等と協働を今後も継続し、多様な方々が支え・支えられる相互支援を循環できる連携体制の構築を実現したい。

誰もが自分らしく輝ける「私の未来」を

色とりどりの「パレット」の絵具のように人々が持つ多様な特性・個性・情緒・背景・環境、それぞれが尊く受け取られ、色と色のかけ合わせによる、育ちあい、助けあい、分かちあいが自然と人々の中に生まれる。そして、制度・役割・立場を超えて人として、変化成長に向きあい、前向きに踏み出せる。生き生きした未来を描けるような地域共生社会という大きな「キャンバス」皆さんと一緒に作りたいです。

参加メンバー

参画メンバー

募集しています!

地域づくりや子育て支援に関心がある方
座談会・研修会開催を手伝ってくださる方
協働的に子育て支援を進めてくださる方
子どもたちの遊び相手になってくれる方
講師として知識・技術を教えてくれる方
活動・イベントを考えてくださる方
得意なこと「こんなこと出来ます。」を提供くださる方

活動・イベントのお手伝い
(ものづくり・音楽・クリスマス会)



地域イベントのお手伝い
(地域食堂「モンタンキッチン」
・地域交流「パレット祭り」)

子どもたちに寄り添ったり、
一緒に遊んだり保育活動

興味・関心に合わせてどのような形でも
繋がっていただくと嬉しいです!





